

平成 26 年度 津山市立勝北中学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月）

学校の取組・改善方法 (課題に対する改善方法)	進捗状況 (学期末時点)	3 学期及び来年度へ向けて (具体的な達成目標や数値目標等)
「わかりやすく魅力的な授業」の充実と「魅力ある授業づくり徹底事業の活用を行い、わかりやすい授業に努める。	A	今年度の教育調査で、「授業はわかりやすい」の生徒回答数が昨年は 74% だったものが、今年度は、81% に上昇したので、3 学期以降も引き続き努力を続けていく。
国語で過去の学力問題を課題に出し、解説をすることによって、条件を指定して考えを書く活動を取り入れる。	B	3 学期も同様の取り組みを授業の中に入れることによって、複数条件で文章を書くことができるようにする。
数学で学習到達度確認テストを定期的に活用する。	C	学習到達度確認テストにくり返し取り組ませる。(授業での活用と春休みの課題として利用)
数学で毎時間、少人数のコースに合わせた小プリントで既習事項の問題演習を行う。	A	小プリントの正答率を 80% 以上にする。

進捗状況・・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上 100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上 85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上 70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上 50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」